若　葉　～わかば～

令和７年１月２２日

１２月１２日、第３回学校運営協議会が開催されました。
後期の教育活動の様子を伺い、また、次年度の方針や学校と地域の連携について意見交換が行われました。

協議事項：後期の教育活動の様子について

【九大寺子屋事業】
・５年生を対象に九大生が大学で学んでいることを紹介する授業
→体験活動を通して、児童の学びの場につなげている
【波多江小祭り】
・児童が主体となった縦割りグループでの活動
・SDGS にこだわった、ゴミが出ない活動
【友愛バザー】
・各店舗に５２名の５・６年生がボランティアで参加
→児童が地域貢献活動をすることで地域とのつながりを実感した。
【シニアクラブとの交流】
・クラブ活動で、モルック・スナッグゴルフを一緒に楽しみ、地域の方とつながった

学習参観の様子

協議会の様子

波多江小「学校・地域連携」について

【最大のポイントは「備える」こと】
・職員の意識や学習活動の価値を「地域の課題へのアプローチ」に変える。
・地域の「人・もの・こと」との関わりや対話を仕組み、地域に働きかける子どもたちを育てる
【各学年における学校・地域の連携】
１・２年　昔遊びや芋焼きを通して「地域と触れ合う」
３・４年　高齢者施設との交流やまちづくりへの参画を水資源の調査等を通して、「地域とかかわりあう」
５・６年　参加から参画へ→題材をもとに、「地域に働きかける」
【活動や行事で大切なことは「活動前」と「活動後」の変容＝「成長」】
・「活動前」　活動の意義・意欲化・期待を高める
・「活動後」　成果と課題、頑張ったところ、次に向けての見直し
☆活動を充実させるためにも、「前・後」が重要となる

意　見　交　換

質問：AI を用いた取組は波多江小も行っているのか？
回答：１人１台タブレット端末があるので、学びの個別化を今後は図っていく。
質問：前原東中で行っている起業家アドバイザーを、小学校は招いているのか？
回答：今からの課題となっている。中学校での起業家教育につながる学習活動を行っていきたい。
意見：自分で作った芋を食べるという、普段できないことを子どもたちに味わわせたいという思いで、六十爺会は芋授業の取り組みを行っている。
意見：不登校傾向の子も、スナッグゴルフなどを楽しみに登校しており、地域の方々の学校への参画はとてもありがたい。

次回の協議会開催は２月末を予定しております